

議会だより 2023年 第3号



高松塚古墳

日本で初めて発見された石室内に極彩色壁画が描かれている古墳である。石室内には四神（玄武・青龍・朱雀・白虎）や男女の人物群像、星宿図などが描かれている。壁画の存在から、東アジアにおける国際交流の影響を強く受けていたことを知ることができる。

壁画の発見は、わが国に考古学ブームを巻き起こし、その後の全国の文化財保存にも大きな影響を及ぼした。さらに明日香保存の後押しともなり、明日香法制定にも貢献した。

Contents

令和5年第3回定例会	2
トピックス	3
一般質問	4～7
9月議会の委員会審査	7～8

令和5年第3回定例会

令和5年第3回定例会でこんなことが決まりました！！

令和5年第3回定例会が、9月4日から9月14日までの11日間の会期で行われました。

本定例会においては、令和4年度決算をはじめ、条例の改正や令和5年度補正予算、人事案件などが上程され慎重な審議が行われました。また一般質問では決算内容を中心とした行政全般について質問が行われました。以下、議決結果を報告します。

	案 件	審議結果
報告第2号	明日香村教育委員会事務事業点検評価報告	報告受理
認定第1号	令和4年度一般会計決算認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	令和4年度明日香村整備基金特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第3号	令和4年度高松塚壁画館受託事業特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第4号	令和4年度明日香村国民健康保険特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第5号	令和4年度明日香村後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第6号	令和4年度明日香村介護保険特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第7号	令和4年度明日香村飲料水供給施設事業特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第8号	令和4年度明日香村公有地等住宅開発事業特別会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第9号	令和4年度明日香村水道事業会計決算認定について	認定(全会一致)
認定第10号	令和4年度明日香村下水道事業会計決算認定について	認定(全会一致)
報告第3号	令和4年度明日香村健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告受理
報告第4号	令和4年度明日香村土地開発公社事業報告	報告受理
報告第5号	令和4事業年度一般社団法人明日香村地域振興公社事業報告	報告受理
議案第35号	明日香村印鑑条例の一部を改正する条例案について	可決(全会一致)
議案第36号	明日香村健康福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例案について	可決(全会一致)
議案第37号	令和5年度明日香村一般会計補正予算(第4号)について	可決(全会一致)
議案第38号	令和5年度明日香村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決(全会一致)
議案第39号	令和5年度明日香村介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決(全会一致)
議案第40号	令和5年度明日香村下水道事業会計補正予算(第1号)について	可決(全会一致)
	明日香村選挙管理委員会委員の選挙について	当選人決定
	明日香村選挙管理委員会委員補充員の選挙について	当選人決定
同意第4号	明日香村固定資産評価審査委員会委員の選任同意を求めることについて	同意(全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任答申
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任答申

トピックス

議会トピックス

奈良県町村議会正副議長研修会に 正副議長参加

7月21日(金)奈良県市町村会館にて、「財務省が仕掛ける今年後半の増税ラッシュ」と題して、数量政策学者 嘉悦大学経営経済学部教授高橋陽一氏より講義を受けました。



奈良県市議会議長会・町村議会議長会合同全議員研修会に議員参加

10月30日(月)大和郡山城ホールにて、県内の市議会議員及び町村議会議員が多数集まり、「地域主権と地方経済」と題して早稲田大学名誉教授・北川正恭先生から講演を受けました。



先生から、「地方議会から地域の活性化を！」そのためにはチーム議会で取り組む必要があると強く訴えられました。

直面する課題に向きあい、住民福祉の向上に繋げるため、さまざまな専門知識を習得し、今後の議会力向上に活かして参ります。

明日香村議会改革検討部会

明日香村議会では、多様化する村政や村民ニーズに応えるため、議会改革検討部会を立ち上げています。議会改革検討部会では村民の皆様が開かれた議会を目指すこと、加えて村民ニーズを実現するため、議員による提案を行うなどの活動を行います。

みんなの議会

傍聴しませんか!!

次の定例会は、12月上旬予定です。行政への知識を深めることや、議会活動、村の方針などを知ることができます。

詳しくは、議会事務局(☎54-2107)へお尋ね下さい。



議会のうらぎ

令和5年第3回

明日香村議会定例会日程

8月

21日(月) 10時

議会運営委員会

9月

4日(月) 10時

定例会 開会日

7日(木) 10時

定例会 一般質問

11日(月) 10時

文教厚生委員会

12日(火) 10時

総務経済委員会

14日(木) 10時

定例会 最終日

村民の声を行政に

村民議会懇談は毎月第3火曜日 9時30分〜12時に行っています。

お気軽にお越しください。





小西 章裕

安心・安全な明日香村を

問 小中学校では一定温度を超えると空調設備のない屋内外での体育授業を中止もしくは短縮したり、遊びを規制したりしていると聞いています。体育館への空調設備設置に向けて学校施設環境改善交付金や緊急防災・減災事業債など国の補助金も含めて検討いただくことはできないでしょうか。

答 今年の夏も体育授業のみならず部活動も短縮や中止になったケースがありました。体育館へのエアコンの整備に向けて検討していきたいと考えています。

問 ゲリラ豪雨での土砂災害や河川氾濫への対策はどうお考えですか。大雨時、住民の方に河川の水門調整をお願いしていますが、突然のゲリラ豪雨の時は事前の段取りもできず、危険な作業になりま

す。二次災害を防ぐ意味でも、スマート農業などの遠隔管理システム導入による水量・水門管理に向けて取り組んでいただけないでしょうか。

答 豪雨は毎年発生していくと言われており根本的な対策が必要と考えています。時間と費用が必要となりますが、農業DXやスマート農業といったものも次年度以降、住民の皆様とともに検討のスタートを切りたいと考えております。

問 今回の村民防災訓練は大雨対策も考えておられますか。村民、消防団、村との連携に加えて各大字で立ち上げている自主防災組織の方々も活躍できる訓練にしたいだけだと思います。

答 大雨対策を念頭にしたものと考えております。



し尿中継施設の整備について



森川 昌彦

問 し尿施設について質問します。令和4年度の実施報告書によりま

すと、し尿中継施設の整備として用地購入、測量、設計を1939万1301円で実施され、コンクリート製貯留槽を地下埋設する計画とお聞きしていますが、その具休の内容と整備によるメリットについてどのようにお考えですか。

答 現在、し尿中継施設につきましては、土地を借上、タンクローリーを1台レンタルいたしまして、中継施設として使用をさせていただいております。当該場所につきましては、西明日香地域の観光ルート上であり、昨年オープンいたしました牽牛子塚古墳、また鐘子塚古墳等へのアプローチの場所とも重複しています。そういったなかで当該中継施設が景観阻害の要

因となつているところを解消するため、コンクリート製の貯留槽を地中に埋設することにより景観の改善を図りたいと考えています。

問 施設整備の完成予想について、また地中化によるランニングコストの削減についてはどのようにお考えですか。

答 中継施設については排出の際、大型のローリー車あるいはトラクターの乗り入れが必要となるため、敷地全体を整地し舗装を行うとともに、水路等の外構工事の実施を検討しています。

ランニングコストの削減としては土地及びタンクローリーの借上げ料が不要となるため年間約165万円程度の削減が図られると考えています。

要望 設備投資は必要かと思いますが、コストの削減と西明日香地域の景観をしっかりと考慮した設計をお願いしませ



村のDX施策について

答 自治体DXについては住民の皆様への利便性の向上を第一に、庁内業務の効率化やオンライン申請のためのシステム整備などの取り組みを実施しています。本年度は、村民の皆様を対象にアンケートを実施させていただき、世代ごとの課題やデジタル化に期待することなどをつかみ、他自治体での先進事例等も参考に次年度施策への反映ができないか検討を続けていくところです。

農産物の地産地消と世界遺産登録後の展望について

答 地産地消については、地域振興公社から宿泊業者、飲食施設への地域産物の普及啓発、また農家と飲食店等の民間間でも地産地消に既に取り組んでいただいております。他地域に比べ高いレベルで実



吉川 磨佐弘

現できていると認識しています。世界遺産登録後についても宿泊業、飲食業で地域の農産物を使っ

ていただく仕組みづくり、連携が重要と考えています。地域振興公社が牽引役となりつつ、農業委員会等との連携など様々な協力体制を構築していくことが今後農業を含めた村、地域の活性化に重要であり、そういった連携による具体的な取り組みの積み重ねが必要と考えます。

要望 村民目線での取り組みをお願いします。

バッファゾーンと市街化調整区域の景観維持管理について

答 明日香村景観計画というものが、住民の皆様で望ましい景観づくりの方向性の話し合いや、集落にとつて大事な資産の継承方法や土地利用、そして建築時のルール、努力すべきことなど、集落ごとに特性に応じて計画づくりを進めていただいています。そちらに基づいた景観づくり活動に対し様々な形で行政として支援をさせていただきますと考えています。

要望 これからも地域住民主体の景観維持管理に取り組んでいただきたいと思っています。

災害について

問 6月水害で遅かった復旧ボランティア。手配体制は構築されましたか？

答 災害発生時、社協がボランティアセンターとして、支援活動を行います。今回の経験を生かし、平時から準備を進め、早急な支援体制を整えます。

提案 避難所の快適な環境づくりに配慮していただきたい。

定住促進事業について

答 明日香村も人口減少が進んでいます。働き手・子育て世代・子供の数のバランスがとれた人口構成を目指します。その為に住居や働く場を、と考えています。

提案 大きな日本家屋の多い村です。二世帯が住める家としてリフォーム時にも助成を！



柳谷 信子

農村魅力づくりについて

答 農業の担い手不足の解消を目的として参画企業を増やす営業等を行っていきます。ハーフマラソン参加の村外の人たちが感じられる「美しい村」としての満足度が、この事業の達成の指標となるかと思えます。遺跡と風景がマッチした落ち着いた農村の景観を維持していきたいと考えています。

提案 マラソン来訪者等の満足度だけでなく、この景観の中で生活されている村民さんの幸せがあつてこそです。また営業活動をするならば、参画企業の目標数値が欲しいです。昨年農業機械設備更新を受けた方たちにもご協力をお願いしてはいかがでしょうか。農業する人、景観を守る人、村に帰ってくる人、村に住みたい人、10年先の明日香村のあり方を考えて欲しい。特に「助け合いの精神」で、明るく、楽しく、将来に向かってやりがいのある持続する農業になるよう「和をもって貴しとなす！」で。





尾崎 久泰

令和4年度決算について

問 令和4年度末の普通会計の村債残高は48億3,589万2千円であり、特別会計、事業会計を合わせると、村全体の村債残高は、合計66億251万8千円です。

この中には、今後の地方交付税算入分も含まれているはずであり、実質的な村の借入額はもっと少ないはずだと思えますが、決算資料をよく見ても読み取れませぬ。

そこで、①右の66億円には、交付金算入分は含まれているのか？
②決算資料のどこを見れば分かるのか？
③村の借入額は、具体的にどのくらいなのか、教えてください。

答 ①（ご見解どおり）含まれております。②申し訳ございません。交付税の算入分については、

資料の方にお示ししておりませぬ。③概算としてですが、起債のうち交付税として、今後算入される額は、約37億円と認識しており、その差額約29億円が村の現在の借入額です。

ワイヤーメッシュ

補助(新制度)について

問 有害鳥獣対策として、ワイヤーメッシュを試験配布していただきましたがどのような効果がありましたか。また、新制度の概要について教えてください。

答 40名弱に配布し、鹿等への防御力が向上した認識ですが、要望数量に対し、十分な配布が出来なかったため、新制度としてワイヤーメッシュを、電柵同様支援の対象に追加し（補助率4分の1、上限20万円）、

個々の農家への支援を拡充させていきたくてです。



飛鳥ハーフマラソンへの村民の意見は？

問 飛鳥ハーフマラソンについて不便、不自由を感じたという意見を相当数聞いた。そのような声を吸い上げる意味で、村民に対して意識調査をする予定はありますか。

答 広報誌を通じて募集したところでは、1名の方からご意見をいただきました。もちろん個人的な様々なところでご意見をいただいていることは事実です。

これから、そういったお声を聞きしながら改善できるところは



石田 雅則

村民の世界遺産への関心は？

改善をしていこうという思いは常にもっております。
要望 個々に聞こえてくる声は多数あるので、そちらを事実として受け止めていただきたいと思えます。広報誌での募集で良しとせず、小さな声を拾い上げる作業をお願いします。

問 橿原市で開催された説明会には約50名、万葉文化館では約100名が参加されたと聞いています。これだけの年月、費用をかけている世界遺産登録への関心の低さをどのように考えますか。

答 もう少し皆様の知恵、気力を集め、そこで地域が本当に元気になるために世界遺産というものをとっていくんだという意識を皆様に一緒になって持っていただきたいと考えています。

意見 まず村民の暮らしがあり、先人の努力によって今の明日香村があります。その上に立つての世界遺産であり、最優先されるべきは村民の生活です。世界遺産登録が目的になってはいけなと考えます。

災害から住民の生命を守るため、防災計画の見直しと対策の強化を

問 稲刈地区での急傾斜地対策と治山ダムの流末処理対策を

答 稲刈のBブロックの急傾斜地対策は県に追加の事業化を要請。治山ダムの増強を県と国に予算要求するとともに、流末処理の整備は村で対策をしていきます。

問 稲刈地区や細川地区など中間集落での移転用宅地の確保を

答 各集落ごとの「安全な土地とは」から議論していきたいと考えています。

問 防災計画の抜本的見直しを

答 最近の線状降水帯の頻発や新庁舎の移転完了もふまえ、計画見直しの作業を進めていきます。

世界遺産登録の実現めざして課題の解決を

問 緩衝地帯（バッファゾーン）の大幅拡大による不安や疑問などへの丁寧な説明を



森本 吉秀

答 新たな規制がかかることはありません。緩衝地帯の境界線はあくまでユネスコとの関係上のルールのためです。

問 住民からの「盛り上がりがない」「何か協力したい」などの声に具体的取り組みと提案を

答 村としては当面、各大字ごとのアプローチなどを進めていきたい。

要望 「(仮称)世界遺産推進室」の設置を含めて役場の推進体制の確立を

世界遺産登録にふさわしい村づくりを

問 世界遺産にふさわしい景観保全のためにも農業再生の対策を

答 農業も含めた様々な資源を使って商品化などで価値化を推進したいと考えています。



細川棚田での稲刈り

要望 ①古都保存法による買い上げ地の保全と活用を県の責任で進める

②世界遺産を支えるためにも、人口減少に歯止めをかける定住促進の対策強化と子育て支援策の拡充を

文教厚生委員会

- 委員長 柳谷 信子
- 副委員長 吉川 磨佐弘
- 委員 小西 章裕
- 委員 森川 昌彦
- 委員 松本 年史

1. 本委員会への付託議案の採決

【令和4年度明日香村（以下略）決算認定関係】

◆結果 いずれも全会一致で認定

◆経緯

・認定第1号（令和4年度明日香村一般会計決算認定）

協議：健康福祉センターの指定管理料と経費で、4945万円と多額な上、光熱水費高騰分とし約230万円について。さらなる光熱水費削減の努力を！

・認定第3号（高松塚壁画館受託事業特別会計決算認定）、認定第4号（国民健康保険特別会計決算認定） 認定第5号（後期高齢者医療特別会計決算認定）認定第6号（介護保険特別会計決算認定）

【令和5年度明日香村（以下略）補正予算関係】

◆結果 いずれも全会一致で可決

・議案第35号（マイナンバーで印鑑

証明の交付可能にするための条例改正）、議案第36号（福祉センター利用料見直しのための条例改正。来年4月より、浴場・運動指導室の村外利用者の料金が値上げ。村内の方はそのまま）、議案第37号（一般会計補正予算第4号）、議案第38号（国民健康保険特別会計補正予算第1号）、議案第39号（介護保険特別会計補正予算第1号）

2. 委員会における意見・要望事項

◆近隣公園の遊具まわり等の草刈り整備を！



近隣公園の遊具

◆コロナワクチン接種後症候群が気になる。受け皿となる相談体制を！

◆ゴミ収集車の事故防止の教育・指導をしっかりと！

9月議会の委員会審査

総務経済委員会

- 委員長 尾崎久泰
- 副委員長 石田雅則
- 委員 森本吉秀
- 委員 福田勇次
- 委員 松本年史

1. 本委員会への付託議案の採決

〔令和4年度明日香村（以下略）決算認定関係〕

◆結果 いずれも認定

◆経緯

●認定第1号（一般会計決算認定）

●賛成多数で認定

●認定第2号（整備基金特別会計決算認定）、認定第7号（飲料水供給施設事業特別会計決算認定）、認定第8号（公有地等住宅開発事業特別会計決算認定）、認定第9号（水道事業会計決算認定）、認

定第10号（下水道事業会計決算認定）

定第10号（下水道事業会計決算認定）
 ◎全会一致で認定

〔令和5年度明日香村（以下略）補正予算関係〕

◆結果 全会一致で可決

◆経緯

●議案第37号（一般会計補正予算第4号）、議案第40号（下水道事業会計補正予算第1号）

◆主な内容

●災害見舞金（台風等の自然災害により住居等に甚大な被害を被った世帯に対し、金200万円）

●道路橋りょう災害復旧費（台風2号（令和5年6月2日～3日）による公共施設災害33箇所の復旧費2610万円）

●農地及び農林施設災害復旧費（台風2号による105箇所の復旧費



災害復旧対応

800万円）

2. 委員会における意見・要望事項

◆世界遺産について

延期の受け止め、今後の課題提示・ルールづくりなど

◆村の農業支援について

農業従事者の世代継承に向けた支援、情報発信の強化など

◆新庁舎交流棟について

村民の皆様の交流・文化発表等に早急に開放を！

◆新庁舎駐車場の段差解消

車座でも村民の方から要望があった事項。早急に対応を！

◆県道の県への要望について

高松塚古墳公園区域内の余分な植栽伐採の検討、雷の北交差点の右折レーンの整備など

◆夏祭りの在り方、物価高騰下でのイベント対応について

マンパワー的な部分、金額的な部分にしっかりと補助を！

◆ふるさと納税について

地域活性化企業人制度の費用対効果、現状の検証など

◆決算資料の記載方法・取り扱いについて

個人情報取り扱い・ルールづくりなど

編集後記

日に日に寒さが増し、今年も残り少なくなつて参りましたが、いかがお過ごしのことでしょうか。

試行錯誤で、今年からスタートしました「議会だより」ですが、おかげさまで第3号を発行することが出来ました。これもひとえに村民の皆様のご声援のおかげと心より感謝御礼申し上げます。

さて、今回の表紙には、世界遺産の構成資産のうち、削号の「石舞台古墳」に続き、本村が世界に誇る「高松塚古墳」の写真を選びました。選定にあたっては、季節感があふれるものが望ましいとの意見がありました。

次に、紙面全体の構成としては6月議会でも、新庁舎建設特別委員会が解散したことに伴い、多少スペースが空くことについて、様々な検討を行いました。

さらにこれまでページ数の数字の横には「明日香村議会だより」と記載していましたが、今後、村民の皆様が混乱されませんよう、号数を明記することにしました。

このように、一歩一歩、拙い改善ではございますが、今後も村民の皆様にとって読みやすく、楽しんで頂ける紙面を目指して参ります。

引き続き、村民の皆様の温かきご声援、ご教示賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

末筆になりましたが、季節の変わり目、くれぐれも御身体、ご自愛下さいませ。

明日香村議会 広報部会

部長 尾崎久泰

柳谷 信子

小西 章裕

森川 昌彦

吉川 磨佐弘